

神功皇后御傳記 上

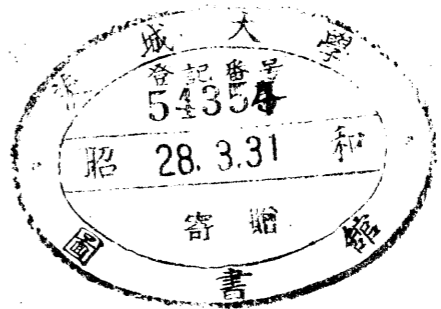
210.3
1

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

タイトル番号：0058

書名：神功皇后御傳記

2冊



矢野玄道先生著

神功皇后御傳記

五條家學士等藏板

神功皇后御傳記
國家建業以隆奎運之化。賢哲之士輩出。而古道大興。然此間藉此。無以衍名。逐利。徒實。神聖之靈人也。而吾友矢野先生。深慕之。見少萬信。而好古慕。鈴屋氣吹屋二箱之風。舉顯幽無教之志。有年于茲矣。其為人。塵直。不揚。時俗。博覽強記。加以

冕劾夙夜手不釋卷。時人目為如
仙不顧也。次應友人書。著神功皇后
御傳記。其考証之精。論說之確。譽
之早滿。實殊為奇。飛鳥清
溪原朝。有裨因舍人名。強記疏備。
聖上勅令之。編習之古事。和朝中
有太師重臣。寸學冠世。天子詔

朝於彼業。其人西海。古事記也
是乎哉。今兄並叙於之多識。與
舍人之強記。而有之。其發為珠玉
不亦宜乎。蓋彼 教撰也。此私著
也。公私固雖異。其於對揚
先聖之大德。竊維此法和銅寶
典。可也。余已歎兄為人。其學亦周。

其志氣与西恩亦相同。公於斯
記之成。尔悦是以整彼。彼以逐
利之徒。而古道之日興。而子已也。
故贅數語于此云。

安政五年冬十一月

左京 川喜多真孝 識



例言九則

凡斯編專採古事記日本紀二典故道二典而出非有大異
全不註如夫交取他籍則註之

凡若稱古事記日記日本紀日記釋日本紀日記釋紀古事記
傳日記傳或汎稱二典五史及姓氏錄古語拾遺等曰皇典
之類皆從其簡易也

凡記有傳紀有釋有通證此吾所取繁也苟有事涉神理餘
蘊未盡者則吾於皇典翼及翼說乎詳言之

凡上古典策多厄于兵燹見存者无幾其存或有錯脫艱澀
不可句者則襲原文以出之否則多惟吾古文是用

凡闡國風土記一。成於和銅之際。一脩於延長之朝。而今僅傳出雲常陸播磨豐後肥前及丹後之闕。伊勢之抄而已。其餘惟取諸釋紀萬葉集抄等所引也。後世別有總國風土記者。信譌相半。未知誰之撰。或可取徵。則錄以稱後記。所以別乎古文也。

凡引古典數書某天皇或某命。從本書而不敢省。欲存其真面目也。

凡所援書目。或揭之前。或註之後。非有異義也。

凡舉論釋。皆書姓名。不敢譚。非不敬先賢也。蓋事係天朝。故體不得不然也。

凡斯編本命曰。二朝小史。蓋紀豐浦磐余二朝之事也。後有故而改之。讀者勿異其体裁也。

凡斯述職。由蓮心熊谷氏。德通要在欲使蒙士知。聖神皇祖之靈德偉業也。故不必事脩辭。嗟余也。管窺蠡測。極知紕繆罅漏之夥。矣。脫悞錫大方君子之覽。則幸勿吝忠告焉。

安政戊午冬十月

伊豫國小民矢野玄道敬識

初め 此時々尚成務天皇の大座（カシ）に坐る。志賀高元（アサキ）穗宮小
 を座（カシ）に坐る。また下條（カシ）に坐る。白鳥のよみ因（カシ）に。大秋九月朔御
 母大后（オホキミ）を稱（カシ）る奉（カシ）く。大御祖命（オホミコノミコト）や申（カシ）ひ。武内宿禰大臣（タケノクニノスネノミナト）の景
 行天皇の御世（カシ）に坐（カシ）る。已（カシ）ふ臣連八十伴緒（オミツラシヤフトモノサ）の上（カシ）や成給（カシ）る。か
 大臣ハ孝元天皇の御曾孫（カシ）少（カシ）く。屋主（ヤヌシ）忍男（ニノヲ）武雄（タケヲ）心命（ココロノミコト）の御子。
 景行天皇御世（カシ）に坐（カシ）る。仁徳天皇世迄（カシ）。六御代（ムツミカド）不仕奉（カシ）く。いや忠
 誠（マコト）功績（イサナ）多く。壽長（スナガハ）くや世（カシ）に坐（カシ）る。大かた三百餘（カシ）。此十月
 或（カシ）はや生（カシ）存（カシ）わく。遂（カシ）ふ仙去（カシ）せし公（カシ）おれ（カシ）く。此十月
 大伴健持連（オホトモノタケノモチノツラシ）道臣命（ミチノミコト）の七世孫（カシ）を大連（オホツラシ）や（カシ）く。大臣大連相并（オホツラシノミナト）を天
 下の政（カシ）を行（カシ）く。給（カシ）る。此十月や（カシ）く。下（カシ）に弘仁歴
 十一月朔。天皇群臣（カシ）不詔賜（カシ）く。朕（カシ）の（カシ）弱冠（カシ）不及（カシ）を
 ば（カシ）る時。父王（カシ）や（カシ）く崩坐（カシ）く。神靈（カシ）白鳥（カシ）や化（カシ）く。天（カシ）上（カシ）に

ま（カシ）つて（カシ）も父王（カシ）を（カシ）思（カシ）ひ奉（カシ）る情（カシ）一日も止（カシ）ま（カシ）ね（カシ）ば（カシ）い（カシ）ら（カシ）く白
 鳥（カシ）を獲（カシ）く。陵城（カシ）なる池（カシ）に養（カシ）む（カシ）く。日本武尊（ヤマトノミコト）の陵（カシ）に白鳥（カシ）三
 此ハ倭（カシ）の栗（カシ）原（カシ）の陵（カシ）なる池（カシ）に養（カシ）む（カシ）く。其（カシ）を見（カシ）つ（カシ）思（カシ）ひ奉（カシ）る情（カシ）を慰（カシ）む（カシ）や宣（カシ）ひ
 諸國（カシ）お令（カシ）せ（カシ）く白鳥（カシ）以（カシ）獻（カシ）ら（カシ）せ給（カシ）ふ。閏十一月四日（カシ）越國（カシ）よ
 王（カシ）白鳥（カシ）四隻（カシ）を貢（カシ）る。神名帳（カシ）に越中（カシ）國（カシ）婦（カシ）負（カシ）郡（カシ）白鳥（カシ）神社（カシ）や
 ら（カシ）む。其（カシ）使（カシ）山城（カシ）國（カシ）菟（カシ）道（カシ）河（カシ）の邊（カシ）に宿（カシ）す。時（カシ）天皇（カシ）の異母（カシ）の御
 弟（カシ）蘆（カシ）髮（カシ）蒲（カシ）見（カシ）別（カシ）王（カシ）や（カシ）く。王（カシ）記（カシ）に足鏡（カシ）別（カシ）王（カシ）とあり（カシ）く。御母（カシ）を
 傳（カシ）ふ云（カシ）。御母（カシ）山城（カシ）國（カシ）人（カシ）な（カシ）む。其（カシ）母（カシ）御許（カシ）に坐（カシ）り（カシ）く。その白鳥（カシ）を視（カシ）く。つ（カシ）ら（カシ）む（カシ）將（カシ）由（カシ）
 く白鳥（カシ）を問（カシ）給（カシ）る。越國（カシ）人（カシ）天皇（カシ）の父（カシ）王（カシ）を戀（カシ）給（カシ）ふ御情（カシ）の
 ら。此（カシ）を（カシ）う（カシ）ひ狎（カシ）む（カシ）く。貢（カシ）ら（カシ）る（カシ）め給（カシ）る（カシ）ふ（カシ）あ（カシ）る（カシ）や申（カシ）る（カシ）

ハ蒲見別王、白鳥をれやもまは焼く、黒鳥と爲むや謂ひ
 強く白鳥を奪取し將去す、ぬ、小越人、まへき方を
 朝廷に參り、其有狀を奏上し、天皇、蒲見別王の父王
 小對奉り、いや禮なきを惡ま、兵卒を遣はし、あれを
 誅し給ふ時、人、いや、御父の志、天神、御兄も亦君、ま
 ち、天神を慢り、君、背き、あ、い、誅を免る、む、む、や
 がいひ、是、年を大歲、壬申、少、大歲、天皇の初、大
 を元年と、數、上、代の御定、○二年、春、正月、十一
 日、氣、長、足、姫、尊、後、御、謚、ハ、神、功、皇、后、ヤ、申、奉、る、を、皇、后、ヤ、さ、だ
 め、給、る、を、皇、后、ハ、開、化、天、皇、五、世、の、御、孫、少、御、父、ハ、息、長、宿

禰王や申す。此、玉、ハ、開、化、天、皇、九、迹、臣、の、祖、也、子、國、意、禰、都、命
 を生り、給、る、此、玉、の、御、子、を、山、代、之、大、筒、木、真、若、王、ヤ、申
 ！此、王、の、御、子、迦、通、米、留、王、又、御、名、若、筒、木、王、の、高、林、比、賣、と
 ソ、ム、を、娶、り、生、ま、せ、る、御、兒、を、息、長、と、諸、陵、式、小、因、り、小
 近、江、國、阪、田、郡、名、地、名、ゆ、天、武、天、皇、紀、小、息、長、横、河、見、え
 万、葉、集、小、息、長、の、遠、智、の、小、ま、げ、や、小、ほ、鳥、の、息、長、川、の、絶
 ぬ、や、も、君、小、語、ら、む、い、や、つ、き、め、や、も、な、ど、よ、め、る、地、を、
 御、母、ハ、新、羅、國、王、の、子、天、日、杵、と、皇、六、世、の、孫、葛、城、之、高、額、比
 賣、命、ヤ、申、す。皇、后、の、一、御、腹、の、御、弟、小、虛、空、津、比、賣、命、と、息、長
 ま、せ、る、天、日、杵、と、日、文、傳、の、説、の、如、く、神、武、天、皇、の、御、兄、三、毛
 入、野、命、波、穗、を、ふ、み、る、常、世、國、小、渡、り、新、羅、國、王、と、成、り、ま
 せ、る、が、未、裔、少、く、崇、神、天、皇、御、世、小、歸、化、せ、る、人、也、か、く、皇、后
 の、御、母、方、ハ、皇、胤、小、い、あ、れ、や、新、羅、種、少、く、皇、后、の、御、時、三、韓
 を、服、從、を、給、る、と、い、ひ、出、界、御、年、幼、ろ、皇、一、程、と、皇、御、性、聰、明
 少、く、深、契、あ、る、と、い、ひ、坐、る、八、幡、愚、童、訓、小、御、長、父、王
 く、叡、智、く、御、貌、い、や、壯、麗、く、坐、る、九、尺、御、齒、一、寸、五、分、父、王